



HOHOBOHO

鵜足津福祉会報 ほのぼの 2022 1月号 vol.421

明けましておめでとうございます

幕末に開国した日本には明治維新以降、大勢の外国人が来日するようになりますが、それとともにコレラ、赤痢、痘瘡、麻しん（はしか）、腸チフス、ジフテリア、インフルエンザなど次々と未知の伝染病（感染症）がもたらされました。抵抗力の弱い乳幼児（1歳未満の子ども）が真っ先に犠牲になり、明治の後半から大正にかけての乳幼児の感染症による死亡率はじつに15%にも上りました。

童謡唱歌『しゃぼん玉』は作詞・野口雨情、作曲・中山晋平で、大正11年に発表された曲です。

♪しゃぼん玉とんだ 屋根までとんだ 屋根までとんで こわれて消えた
しゃぼん玉消えた 飛ばずに消えた 生まれてすぐに こわれて消えた
風 風 吹くな しゃぼん玉 とぼそ♪

たわいのない童謡唱歌だと思っていましたが、こうした社会的背景を知ると、産まれてすぐに亡くなった乳幼児へのレクイエム（鎮魂歌）だったのではないかという気がします。

ところで、ウィズコロナとは「コロナウイルスと共存するための社会システムやライフスタイルの構築」のことです。改めて「専門家会議」が提言したウィズコロナのライフスタイル

の最低限やるべきことを確認しておきましょう。これを「ウィズコロナ10か条」と名付けます。

- 1 人との間隔はできるだけ2m（最低1m）空ける。
- 2 会話をする際は可能な限り真正面を避ける。
- 3 会話をするとき、人との間隔が十分にとれない場合はマスクを着用する。
- 4 家に帰ったらまず手や顔を洗い、うがいをする。
- 5 手洗いは石鹸で丁寧に洗うか消毒薬を使用する。
- 6 部屋はこまめに換気を行う。
- 7 「3密（密集、密接、密閉）」を避ける。
- 8 公共交通機関での会話は控えめに。
- 9 大人数や大皿での食事は避け、料理は個々に。
- 10 買い物は計画を立てて素早く済ませます。

以上を守っていれば、新型コロナウイルスを必要以上に恐れることはないでしょう。ウイルスも宿主がいなければ生きてはいけないので、彼らも人間との共存を求めているからです。

2022年は新型コロナウイルスで萎縮していたライフスタイルを「ウィズコロナ10か条」を守りながらのびのびとさせ、実りのある年にしたいものです。皆様のますますのご健勝とご活躍を祈っております。

理事長 小松 守



篤志御礼

香川県共同募金会様

ボランティア活動 ありがとうございます

高瀬荘のぞみ会の皆様 岡下順子様

結婚おめでとう（敬称略）

■令和3年11月21日 夫 藤田裕之（アゼリア今津） 妻 章代（旧姓：山路、みとよ荘）



施設の見学は随時、承っております。お気軽にお越しください。また、電話やメールなどでもお問い合わせを受け付けております。各施設の電話番号、メールアドレスは本編に併記してあります。

ケアハウスマイルドハート 21

〒769-0205 香川県綾歌郡宇多津町浜五番丁53番地9
Tel. 0877-49-9111 Fax. 0877-49-9113
E-mail mild21@utazufukushikai.or.jp

数字は大きく色にメリハリ

日めくりカレンダー作り

コロナ禍で外出などの行動が制限され、単調になりがちな生活が続くなか、月日の移り変わりに関心を持っていただこうと、職員による手作りの日めくりカレンダーを作成しました。

視力が低下した方にもはっきりと分かりやすく日付が見えるよう、数字は大きく表現し、色もメリハリをつけた用紙を選ぶなど試行錯誤の末、見た目にも鮮やかなカレンダーが出来上がりました。



完成したカレンダーは共用のフロアに設置していますが、毎日の日付をめくることが楽しみを感じている方、「今日は〇日やな」と日付の確認のためにフロアまで出てきてくれる方など、利用者の皆様に好評をいただき、改めて日付の感覚が利用者様にとって重要な関心事であることに気づきました。

介護職員 木谷 良子

障害福祉サービス事業所 かりん園

〒766-0023 香川県仲多度郡まんのう町吉野4300番地22
Tel. 0877-79-1230 Fax. 0877-79-1231
E-mail karin@utazufukushikai.or.jp

気持ちワクワク

大掃除

かりん園では、半期ごとにホール、食堂と作業室の大掃除をしています。就労継続支援B型の利用者様と一緒にロッカーや机を移動し、ポリッシャーで床洗浄して水拭き、乾拭きしてからワックスがけを行います。

いつもとは違う作業に利用者様も張り切って取り組み、ポリッシャーが入らない場所の汚れをこするなど、いつもの掃除ではできない箇所を重点的に行いました。家具がなく、いつもと違う風景のなか、床がピカピカになっていく様子に気持ちがワクワクします。大掃除は普段の作業とはまた違った動きの

ため、大変疲れる作業ですが、みんな綺麗になったかりん園を見てとても満足そうな様子でした。

毎日の清掃や半期の大掃除を継続して行い、これからも施設の維持管理（環境美化）に努めていきます。

職業指導員 秋山 ひとみ



丁寧な作業で広い床がピカピカ

障害福祉サービス事業所 障害児通所支援事業所 Uサポート高松

〒761-0301 香川県高松市林町2217番地7
Tel. & Fax. 087-899-8488
E-mail usupport-takamatsu@utazufukushikai.or.jp

秋を感じてリフレッシュ！

車で日帰り旅行

気温が下がり、秋も深まってきた11月17日、Uサポート高松の就労継続支援B型では、「道の駅しおのえ」と「大窪寺」に日帰り旅行に行ってきました。1日をかけて紅葉を楽しむ車旅でした。当日は天気がよく、厚着をすると暑いくらいでした。

「道の駅しおのえ」には、お土産品や地元で採れた新鮮な野菜などがたくさん並んでおり、見ているだけでワクワクしました。また、すぐ横を香東川が流れており、川沿いの静かな雰囲気でのんびりすることができました。

四国88カ所巡り最後の寺院でもある「大窪寺」には、大きなイチョウとモミジがあり、毎年素晴らしい景色を見せてくれ

ます。残念ながらイチョウは葉が落ちてしまいましたが、モミジは見ごろで、真っ赤に染まった景色を楽しむことができました。利用者様からは「開放感があったよかったです。また行きたい」との声をいただき、この旅行を企画した者として、とてもうれしく思いました。

これからも、利用者の皆様に楽しんでいただける行事を企画していきます。

職業指導員 片岡 永



有名な大窪寺の紅葉。鮮やかな赤でした

障害者支援施設 **みとよ荘**

〒767-0021 香川県三豊市高瀬町佐股乙443番地1
Tel. 0875-74-7829 Fax. 0875-74-7847
E-mail mitoyoso@utazufukushikai.or.jp

想像以上に暑かった

新型コロナ感染症発生シミュレーション

当施設では10月7日、新型コロナ感染症発生想定シミュレーションを実施しました。参加職員が利用者様、職員役になり、感染者の発生から受診までの対応方法や食事介助、排

泄介助などの場面を再現しました。参考にしたのは「高齢者施設における新型コロナウイルス発生想定シミュレーション」動画です。

参加した職員からの感想として、①防護具の着脱時の手順が難しかった。②ゾーニング(清潔区域と汚染区域の境界)を行い、どの区域にオムツカート、ゴミ箱、手指消毒を設置すればいいのか迷った。③防護服、マスク、フェースシールドを着用したが、想像以上に暑く、汗が出て辛かったとの意見がありました。

今後は、それぞれの意見を参考にして、実践しやすく効果的な感染対策を検討していきたいと思います。

看護師 齊藤 邦恵

養護老人ホーム **土器川荘**

〒763-0092 香川県丸亀市川西町南207番地3
Tel. 0877-58-6210 Fax. 0877-58-6211
E-mail dokisou@utazufukushikai.or.jp

美容と健康に良いものばかり

喫茶コーナー

土器川荘では毎月2回、喫茶の日があり、昼食後のおやつとしていろいろなメニューを用意しています。この日の喫茶のメニューは、アイスクリーム、ラーメン、焼きそば、焼き芋、メロンパン、どら焼きを用意しました。どら焼きは、はったい粉を使用して作ってみました。麦の芳ばしさとあんこの相性が良く、どこか懐かしさを感じることができます。また、食

物繊維やミネラルが豊富なので疲労回復や老化防止にもつながり、とても好評でした。

これからも入所者の皆様に、喜んで食べていただけるようなメニューを考えていきたいです。 栄養士 船橋 芹奈



お芋は特に人気メニューです

介護老人保健施設 **ライトハート いきいき荘**

〒769-0205 香川県綾歌郡宇多津町浜五番丁53番地1
Tel. 0877-49-7255 Fax. 0877-49-3334
E-mail ikiikiso@utazufukushikai.or.jp

アドバイザーをお招きして

排泄介助商品の使い方研修

排泄介助の際に使用するオムツやパッド類は、大変優れた

機能を持っています。しかし、慣れや無知からその機能を十分生かし切れていない場合があります。そういったことを防ぐために、いきいき荘では定期的に研修会を開いています。

今回は、パッドの吸収実験や実技を交えた研修を、エリエールのアドバイザーをお招きして行いました。実技では、実際にオムツを当てることで、漏れの原因となる隙間を防ぐ方法を実感できたようでした。

正しい介助を行うことで、利用者様に不快な思いをさせないよう、日々学ぶことを忘れずにいたいと思います。

介護主任 西村 祐子



パッドの吸収実験



漏れを防ぐオムツの当て方の研修

ケアハウスマイルドハート 丸亀

〒763-0051 香川県丸亀市今津町219番地2
Tel. 0877-21-5200 Fax. 0877-21-5282
E-mail mildma@utazufukushikai.or.jp

秋の味覚を堪能

いも！イモ！芋！石焼き芋！

11月に老人デイサービス、身障デイサービスで3日間にわたり、利用者の皆様と一緒に掘ったイモで石焼き芋を行いました。石焼き芋の機械で焼いているときに漂ういい匂いに、利用者様から「何がでっきよんな？」「ええ匂いやなあ」「これ食べれ

るんな？ 楽しみやわあ」とさまざまな声が聞こえてきました。普段、昼食後に帰宅する利用者様も「美味しい芋が食べられるなら残るわ」といつもより長い時間を過ごし、出来上がった焼き芋を美味しく召し上がりました。秋の味覚を堪能したことと思います。

今後も、利用者様に喜んでいただけるような行事を行っていただけるように努みたいと思います。

生活相談員
三角 光紀



うーん、美味しい

障害者支援施設 土器川タウン

〒763-0092 香川県丸亀市川西町南207番地3
Tel. 0877-58-7757 Fax. 0877-28-2627
E-mail doki@utazufukushikai.or.jp

大好評にこたえて

焼き芋

11月17日、昨年もとても大好評だった焼き芋パーティーを実施しました。準備の段階から、皆様「早く食べたい」「まだ？」などと待ち望んでいました。焼き芋が出来上がり召し上がった際は、「美味しい」「もうないの？」と皆様、終始笑顔でパーティーを満喫していました。

今後も、季節感を感じられるような催し物を考え、日々を楽しんでもらえるようにしたいと思います。

生活支援員 池田 元



美味しく焼き上がってくれるかな

ケアハウスマイルドハート 坂出

〒762-0005 香川県坂出市横津町三丁目2番11号
Tel. 0877-44-5255 Fax. 0877-44-5266
E-mail mildsa@utazufukushikai.or.jp

なにこれ？

何事もチャレンジ

身障デイ坂出では、このところ余暇活動の時間に問題集を解くことが流行しています。簡単な算数から高校で習う漢字までさまざまなジャンルの問題にチャレンジしています。

「漢字は読めても書けんわあ！」「これ何て読むん？」「小数点第二位四捨五入ってなんやの？」などいたる所でため息と笑顔が飛び交います。

職員も「なにこれ？ 習ってないよ（笑）」と言いながら一緒に考えています。

問題集が苦手な方は絵を描いています。職員のリクエストに応じて、来年の干支のトラを描いてくれました。今までに描いたことがなかったようで、試行錯誤を繰り返しようやく完成しました。デイルームの入り口に飾って、皆様を出迎えています。

来年も余暇活動の時間を使って、いろいろなことにチャレンジしてもらえたらと思います。

生活指導員 佐藤 美保子



このことわざ、意味は……



べつに問題集が苦手なわけではないけど、トラを描きます



こ、この迫力、天才ですか！

特別養護老人ホーム 寿楽荘

〒769-0210 香川県綾歌郡宇多津町170番地1
Tel. 0877-49-3388 Fax. 0877-49-3389
E-mail jurakuso@utazufukushikai.or.jp

ウィズコロナを意識して

音楽療法

新型コロナウイルス感染対策のため、休止していた音楽療法をここ最近ではコロナが落ち着いてきたので、約2年ぶりに再開しました。

あらかじめ先生と打ち合わせをして、感染対策のため、従来の合唱中心ではなく、色々な楽器を使って演奏したり、体操を取り入れたりしながら、「ウィズコロナ」を意識した方法での実施です。入居者様も次第に楽器にも慣れて、楽しい時

間を過ごしていました。

今後も感染対策に留意した余暇活動を通じて、たくさんのお入居者様が参加できる楽しい時間を提供したいと思います。

介護職員 坂本 直哉



手拍子でしっかりリズムをとって

障害福祉サービス事業所 エコランド鶴足津 障害者共同生活援助 グループホーム鶴足津

〒769-0224 香川県綾歌郡宇多津町平山2628番地718
Tel. & Fax. 0877-41-0873
E-mail ecoland@utazufukushikai.or.jp

親睦のひとつき

交流の会

グループホームあさひの開業から1周年を迎え、新しい利用者様を迎えたこと、誕生日を迎えた利用者様がいらっしゃる、喜ばしいことが重なったこの11月に「交流の会」を開催しました。

利用者様の好きなメニューを伺い、握り寿司をメインとする夕食を手配しました。

新しい利用者様の紹介や自己紹介、誕生月の方々へお祝いの言葉を贈り、会食を楽しみながら、和気あいあいと時間を

過ごしました。

新型コロナ禍のなか、グループホームあさひでは、楽しいひとときを過ごすことができ、利用者様同士、また、利用者様と職員がより一層、親睦を深めることができたと確信しています。

サービス管理責任者 大川 美香



確実に新しい絆が生まれているようですね

障害福祉サービス事業所 さかいで 障害児通所支援事業所

〒762-0003 香川県坂出市久米町一丁目518番地1
Tel. 0877-46-3088 Fax. 0877-46-3088
E-mail sakaide@utazufukushikai.or.jp

食欲の秋のスイーツポテト

クッキング

11月20日、放課後等デイサービスさかいでは、月例企画のクッキングを行いました。全員、手洗いをし、マスク・手袋をつけて準備万端！

今月は、スイーツポテトに挑戦しました。ほくほくのサツマイモをつぶしたり、楕円形に整えたりと上手に作りました。「早く食べたいな。焼けるのまだかな」と焼き上がりを皆様、楽しみにしていました。

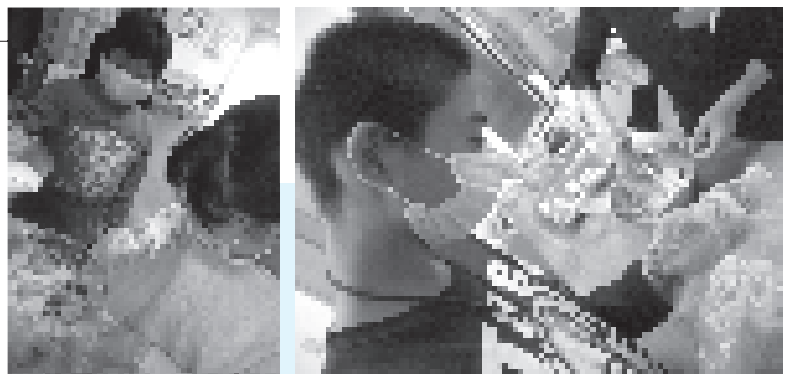
焼きあがったら、アイスや生クリームをトッピング

して、オリジナルのスイーツポテトの完成！

「おいしい！」「また食べたい！」と子どもたちには大好評でした。

今後も利用者様に楽しんでもらえる企画を考えていきたいと思っています。

児童指導員 山根 史也



食べるのも良いけど、作るのも楽しいね

障害者支援施設 高瀬荘

〒767-0021 香川県三豊市高瀬町佐股乙425番地3
Tel. 0875-74-7811 Fax. 0875-74-7818
E-mail takaseso@utazufukushikai.or.jp

利用者様の安全第一を念頭に

シェイクアウト訓練

11月5日、県下一斉で実施されたシェイクアウト訓練に高瀬荘も参加しました。利用者の皆様は「地震です」の館内放送が流れると、机の下に隠れて落下物から身を守る安全行動をとりました。利用者の皆様は、職員の声かけにもすぐ反応し、机の下に素早く移動することができました。毎年この訓練に参加していますが、このような機会があることで職員の防災意識を高め、実際に地震があった際の注意点を確認することができ、非常に有意義なものにすることができました。

昼食には、備蓄米を使ったまぜご飯をいただきました。普段はなかなか備蓄食を口にすることがないのですが、利用者の皆様はおいしそうに召し上がっていました。

同日に、119番通報を行う通報訓練も実施しました。初めて119番に通報した職員は、緊張している様子でしたが、緊急時に落ち着いて状況を伝えるための大切な訓練であると真剣に取り組んでいました。

いつ起こるか分からない災害への備えとして、今後も利用者の方々の安全を第一とした訓練を行い、必要な知識、経験を重ねることで実際に起きた時、冷静な対処と行動ができるよう、努力を重ねていきます。 生活支援員 小林 直幹



危ない! すぐに机の下に入ります

御礼

香川県共同募金会様より送迎用車両

この度、香川県共同募金会様より、令和3年度助成事業の助成を頂き、送迎用車両としてタント（ターンシート、スローパー付き）1台を整備することができました。

今後、利用者様の受診および外出などに活用してまいります。ここに御礼とご報告を申し上げます。

共同募金会様から頂いた送迎用車両



☺ 福祉時報 福祉サービスにおける品質管理

昨今の福祉施設を取り巻く外部環境の変化で、サービス体系の多様化・複雑化が生じ、より評判の良い施設を利用したいという利用者様の選別意識が強くなってきています。つまり、利用者様を確保できない施設は生き残れず、淘汰される時代が来ていると言えるでしょう。利用者様を確保するためには、今まで以上の支援サービスの品質向上が不可欠です。

では、そもそも「品質」とは何でしょうか。品質は、「その製品やサービスが使用目的を満たしている程度（使用目的への適合性）」と定義されています。この定義を噛み砕くと、品質は「お客様の満足度」とも言えるでしょう。

品質の国際規格であるISOをご存じでしょうか。ISOはスイスのジュネーブに本部を置く国際標準化機構のことで、ISOが制定した規格を「ISO規格」といいます。ISO規格とは簡単に言えば世界基準のモノサシのようなもので、ネジやクレジットカードの大きさなどを定めた「モノ規格」と企業や工場などの組織活動を管理するための仕組みを定めた「マネジメント規格」があります。

当施設では2020年3月に就労継続支援B型の一事業部門においてISO9001：2015版を認証取得しました。ISO9001は品質マネジメントシステムの規格で、商品やサービスをお客様に提供するためのプロセスを管理する仕組みになります。ISO9001の最終目標は「顧客満足の達成」であり、継続的に製造およびサービス提供プロセスを改善する仕組みを運用することで、より良い製品やサービスをお客様に提供し続けることができるようになるのです。認証取得へ向けた取り組みのなかで、この考え方は利用者様のニーズを把握し、個別性を重視した、誰が行（おこな）っても統一された質の高いサービスを提供できるという福祉の分野にも十分対応できるものではないかと感じました。

ISOは、企業向けの認証制度と思われがちですが、実際に福祉施設でISOの認証制度を導入・活用している施設も増えてきています。この考え方を福祉分野でも浸透させることで、より良い品質（利用者様に満足いただけるサービス）の実現が可能となるのではないのでしょうか。

障害福祉サービス事業所 高瀬荘 主任 田邊 孝祐

特別養護老人ホーム マイルドハート高円寺 ほのぼの

〒166-0002 東京都杉並区高円寺北一丁目28-1
Tel. 03-5345-5981 Fax. 03-5345-9960
E-mail honobono@utazufukushikai.or.jp

激動の年でした

2021年を振り返って

2021年は私たちの生活をも変えてしまうような激動の年で、さまざまな出来事があった1年でした。

コロナ関係では繰り返される緊急事態宣言の延長で、飲食業の方々は苦悩の1年だったことでしょう。そしてワクチン接種では、当初の予定からは大きく遅れてのワクチン確保の情報に、今か今かと不安を隠せない日々が続きました。11月に入るとワクチン効果のおかげか、感染者の激減に伴い緊急事態宣言も緩和され、感染予防対策の継続は必要ですが、入居者様・



マイルドハート高円寺

職員ともに、みんな揃って元気に年を越すことができそうです。第六波も懸念される場所ですが、このまま収束してくれることを願うばかりです。また、日本各地で起こる天災。集中豪雨による河川の氾濫や土石流などで、多数の方が亡くなりました。そして、一般の方を巻き込んだの殺傷事件。未成年者が被害者となる事件など、多数の方が被害を受けた出来事もありました。そんななかでもマイルドハート高円寺は、世の中の混乱に影響されることなく、平穏な生活を送ることができ、関係者の皆様に感謝しなければならぬと強く感じています。

2022年こそ、平和な安心した生活を送れることを切に願います。
介護主任 小林 真由美

障害者支援施設 マイルドハート高円寺 なでしこ

〒166-0002 東京都杉並区高円寺北一丁目28-1
Tel. 03-5345-6740 Fax. 03-3388-5279
E-mail nadesico@utazufukushikai.or.jp

「久しぶり、美味しかったね」

通所で調理実習

コロナの感染者数も減少し、徐々に日常を取り戻しつつある昨今ではありますが、まだまだ気の抜けない日々が続いています。

感染症対策のため、入所利用者様の参加は見送られましたが、11月18日、なでしこの通所で「調理実習」を行いました。

メニューはアンケートの結果、「カレー」「マカロニサラダ」「コンソメスープ」「ティラミス風ゼリー」に決定しました。久しぶりの調理実習ということもあり、最初は皆様、戸惑った

様子を見せていましたが、職員がしっかりとサポートすることで安心して調理を行うことができ、自分たちで作ったものをみんなで食べる楽しみを感じることができました。

午後に行った反省会では、「美味しかった」「またやりたい」「普段包丁を持つことがないからいい経験になった」など嬉しい感想

を発表する利用者様がいたなか、「次は何作る?」と、もう次のメニューを考えている利用者様もいました。

もう少しでご家族の皆様にも行事に参加していただけたと思いますので、皆様これからもご協力くださいますよう宜しくお願い致します。
生活支援員 黒川 隼人



なんだか楽しそうですね

高齢者ショートステイ マイルドハート西荻

〒167-0042 東京都杉並区西荻北一丁目19番9号
Tel. 03-3390-2831 Fax. 03-3390-3022
E-mail mildnishiogi@utazufukushikai.or.jp

秋の終わりと冬の始まりを感じて

柿は秋の風物詩

すっかり気温も下がり、日増しに寒さが加わり落ち葉が舞う頃合いとなりましたが、皆様いかがお過ごしでしょうか。

当施設でもすっかり冬の寒さを迎え、利用者様の衣類や居室の室温に気をつかう日々を過ごしています。施設の庭にある柿の木のカキもすっかり色味を増し、熟しています。それを窓から眺めていた利用者様も「もう熟しきっているね、もうすぐ秋も終わりだね」と秋の終わりの近さを寒さ以外でも感じ

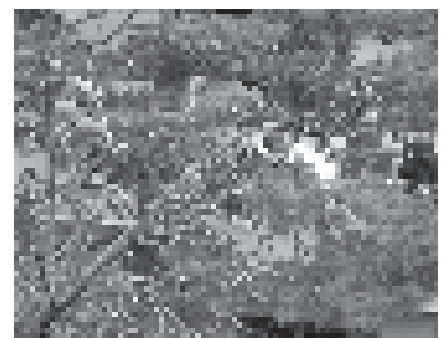
ることができました。

施設周辺の鳥も柿の木に止まりカキを食べに来ていました。その様子を見た利用者様は「柿が熟しきる前に食べに来たんだね、可愛いね」と施設周辺の自然を楽しんでいました。

秋も終わりを迎えつつあり、寒さも一段と強まってくるなか、利用者様の体調管理に一層気を付けていきたいと思えます。

寒さに向かう季節、皆様も風邪など召しませんように、健康にはくれぐれもお気を付けください。

介護職員 野尻 昂



庭のカキも冬枯れの様相を呈し始めました

特別養護老人ホーム 今津荘

〒763-0051 香川県丸亀市今津町186番地1
Tel. 0877-58-2611 Fax. 0877-21-2007
E-mail imazuso@utazufukushikai.or.jp

秋も深まってまいりました

あちこちに秋が

朝夕、冷えてきましたが、皆様いかがお過ごしでしょうか。コロナ禍で外出ができず季節を肌で感じる機会がないため、利用者様に少しでも季節を感じていただこうと、今津荘ではフロアや廊下など、利用者様の目につく場所に四季折々の飾りつけを行っています。

秋は、紅葉ということで、造花ではありますが、紅葉しているカエデや秋の食べ物の代表であるカキやクリを飾り、季節を感じていただけるよう努めています。「本物のカキ？」と聞かれることもあります。「飾りですよ」と答えると、少し残念な表情で「やっぱり」と会話に花が咲いています。

今後も外出の機会が少なく、季節を肌で感じる機会が少ない利用者様に、少しでも季節を感じていただけるよう、職員一同努めていきます。

余談ですが、少し前には、昼食に栗ご飯が出ていました。秋は、クリ、カキ、マツタケ（なかなか口にできませんが）、サンマと美味しい食べ物がいっぱいです。施設の食事にたくさん出ればいいなあ……。
介護主任 富永 将司



目に鮮やかですね。これ本物ですか？ 訊きたくありませんね

サービス付き高齢者向け住宅 アゼリア今津

〒763-0055 香川県丸亀市新田町172番地1
Tel. & Fax. 0877-85-8383
E-mail az-imazu@utazufukushikai.or.jp

紅葉見学へ行ってきました

桃陵公園へドライブ

11月中旬、2日に分けて季節を感じていただこうと、多度津町にある桃陵公園までドライブに行きました。2日間とも天

候に恵まれ、公園の展望台で「一太郎やーい」の銅像をまず拝見し、眼下に広がる多度津の港町や丸亀市街、飯野山（通称：讃岐富士）などを眺め、感動していました。少しずつ色付いてきた紅葉に秋を感じながらのおやつタイムでは「いい所やね」とにこやかに景色を楽しむ方や、紅葉よりもおやつに夢中のまさに「花より団子」の方もいました。15時にメロディーを奏で時を告げるカリヨンの鐘を聴いて帰設となりました。約1時間という短い時間ではありましたが、少しでも楽しんでいただけたのではないかと思います。感染症対策で行動制限はありますが、これからも工夫を凝らし、季節を感じていただこうと思います。
介護職員 池内 利佳



おやつで「ほっこり」



多度津～丸亀を望みます

編集後記

2022年の干支は寅（トラ）。概してネコ科の猛獣がそうであるように、トラもまた伴侶と過ごす一時期を除いて、生涯の大半を単独で行動します。捕食も単独で行うので、状況を見て瞬時に巧みな駆け引きを組み立てる高度な頭脳と、獲物を上回る身体能力が必要です。食物連鎖の頂点に君臨するだけの総合力を持つトラ。2022年はそんなトラにあやかり、個人の能力を高めたいですね。

鵜足津福祉会本部『ほのぼの』編集局

ほのぼの2022年1月号 vol.421

令和4年1月発行

発行人 小松 守

発行 社会福祉法人 鵜足津福祉会

〒769-0205

香川県綾歌郡宇多津町浜五番丁53番地11

Tel. 0877-49-4172 Fax. 0877-49-4108

URL <https://www.utazufukushikai.or.jp/>

E-mail honbu@utazufukushikai.or.jp

印刷 株式会社 中誠堂